



小学生も交え、近隣自主防災組織を主導する活動

～芝富士町会自主防災隊(川口市)～

自主防災組織の紹介

- 創設:昭和62年
- 加入世帯数:1,760世帯
- 地域の特徴:戸建住宅と集合住宅、商業の混在地



活動内容

1 防災活動は近隣自主防災組織と一緒に実施

近隣のマンション自主防と防災訓練や毎月の情報交換会を実施

2 想定される事態に即した実践的訓練を雨天決行

大地震を想定し、煙幕避難訓練、可搬ポンプ操作訓練、飲料水作成訓練などを必ず実施

3 小学生も交えた避難所生活疑似体験(宿泊訓練)の実施

小学校を拠点に、毎年、小学生を対象に、1泊2日の宿泊訓練(炊出訓練、照明設置訓練、プライベートルーム作成訓練等を子供と大人が協力し合い実施

活動の成果

普段から近隣の自主防災組織と一緒に子供たちも交え活動することで、顔の見える関係が広がり、防災の担い手も多くなり、共助の力が格段にアップ

芝富士町会自主防災隊に伺いました！

Q 近隣の自主防災組織と一緒に活動するには、どのような手順で何をすればよいのでしょうか？

A まず役員同士で防災活動についての意見交換を行い、情報共有しています。

Q 煙幕訓練や飲料水作成訓練では何を準備し、誰に指導を仰げば良いのですか？

A 煙中訓練は、消防署に協力していただき実施しています。ろ過浄水機は、町会で購入し、メーカーから指導を受けた防災リーダーが町会員等に取り扱いの指導をしています。

Q 避難所体験訓練はどのような手順で実施すれば良いのですか？準備や指導などはどうしたら良いのですか？

A 自主防災組織及び町会で合意を得たら、市町村防災担当課・消防署・消防団、特に拠点となる学校長の理解と協力を得ています。資機材等については、市の備蓄用品や町会の資機材を使用し、町会の防災リーダーが中心となり町会員や児童の指導に当たっています。

Q 活動するに当たって苦労したこと、課題などはありますか？

A 苦労は、「過去に大きな災害がないから大丈夫」・「大災害は来ないと思うけど来たらあきらめる」等で住民が無関心なことです。また、「避難行動要支援者」への対応と防災隊員の不足が課題です。

Q その他、活動全般に関してヒントやアドバイスがあったらお願いします。

A 防災・減災対策は、「最悪の条件・タイミング」を想定して検討することだと思います。専門的なことは、消防署や消防団、市防災担当課の指導を受けています。住民の方には、「助けられる人から助ける人」になってもらう為に転倒防止や割れたガラスでの怪我防止など出来ることから説明しています。自治会組織の協力を得て、積極的に顔の見える関係を築くようにしています。